

会 議 録

会議の名称	山形市地域包括ケア推進協議会	
日 時	令和5年7月6日（木）午後4時30分から午後6時30分	
場 所	男女共同参画センター 5階 視聴覚室	
議 題	<ul style="list-style-type: none"> ・会長の選任・職務代行者の指名 【報告】 ・地域包括支援センターの活動状況について ・山形市聴こえくつきり事業について ・ケアマネジャーと主治医・薬局がよりやりとりしやすい環境に向けた取組状況について 【協議】 ・地域包括支援センターにおける指定介護予防支援事業等の委託先の承認について ・第8期介護保険事業計画及び一般介護予防評価事業（令和4年度分）の進捗状況等について ・第9期介護保険事業計画の策定について 	
出席者	高瀬謙治委員、田中教仁委員、高橋邦之委員、池野士功委員、佐伯和毅委員、菅野弘美委員、細谷健一委員、海藤美紀委員、五十嵐元徳委員、柴田邦昭委員、藤澤睦夫委員、滝口明子委員、熊坂聡委員、大竹まり子委員 （欠席：長瀬武久委員、松田幸子委員）	
傍聴者の数	1人	
審議経過	下記のとおり	
提出資料	資料1	-1 地域包括支援センター相談実績等
		-2 令和4年度山形市地域包括支援センターの概要
		-3 令和5年度山形市地域包括支援センター事業計画
	資料2	「聴こえくつきり事業」について
	資料3	-1 ケアマネジャーと主治医・薬局がよりやりとりしやすい環境に向けた取組状況について
		-2 ケアマネジャーと主治医・薬局がよりやりとりしやすい環境に向けた取組（チラシ）
	資料4	センターの設置者が指定介護予防支援に係る業務の一部を委託することができる指定居宅介護支援事業者の承認に関することについて
	参考資料4-1	指定介護予防事業所の受託可能事業所一覧
	資料5	-1 山形市介護保険事業計画（第8期介護保険事業計画）令和4年度評価結果
		-2 令和4年度進捗状況及び評価
	参考資料5-1	令和4年度各施策の取組状況
	資料6	-1 第9期介護保険事業計画策定スケジュール
		-2 高齢者実態調査結果の概要（速報値）
		-3 介護保険事業者等実態調査結果の概要（速報値）
参考資料6-1	『山形市が目指す未来像』を実現するための取組（第8期）	

	- 2	『健やかに生きがいを持って生活するためのビジョン』を達成するための取組の全体像
	- 3	『介護が必要になっても住み慣れた地域で安心して生活するためのビジョン』を達成するための取組の全体像
	- 4	考察シート（例：サービスCの利用促進）
その他資料1		令和4年度介護保険事業の実施状況について
その他資料2		「介護の職場」魅力・活力くるりんプロジェクト(生産性向上モデル事業)について

1. 開会

2. あいさつ

3. 会長の・職務代行者の指名

事務局

つづきまして、次第の3. 会長の選任・職務代行者の指名にはいります。

当協議会設置要綱第4条の規定にて、「推進協議会に会長を1人置き、委員の互選によりこれを定める。」とされております。

どなたか、会長に立候補またはご推薦がございますでしょうか。

委員

山形市社会福祉協議会 常務理事 高瀬謙治氏を推薦します。

事務局

そのほか、ございませんでしょうか。

山形市社会福祉協議会 常務理事 高瀬謙治氏の推薦がありました。高瀬氏を協議会の会長として選出することにご異議ございませんでしょうか。

－異議なし

それでは高瀬会長どうぞよろしくお願い申し上げます。

事務局

つづいて、設置要綱第4条第3号の規定により、「会長に事故あるとき、又は会長が欠けたときは、あらかじめ会長が指名する委員がその職務を代行する。」とされておりますので、高瀬会長より職務代行者の指名をお願いしたいと思います。会長ご指名をお願いします。

会長

職務代行者は、山形県老人福祉施設協議会副会長 細谷委員を指名させていただきます。

事務局

それでは、細谷委員どうぞよろしくお願いいたします。

4. 報告

(1) 地域包括支援センターの活動状況について

(2) 山形市聴こえくつきり事業について

(3) ケアマネジャーと主治医・薬局がよりやりとりしやすい環境に向けた取組状況について

事務局

それでは、4. 報告に入ります。

協議会の会議は、設置要綱第5条の規定に基づき、会長がその議長になることとされておりますので、高瀬会長、議事進行をよろしくお願いいたします。

議長

それでは、まず報告事項(1)から(3)について事務局より説明をお願いします。

(1)から(3)までの説明の後、まとめて質問・ご意見を伺います。

事務局 ー(1)地域包括支援センターの活動状況について資料1-1~3に沿って説明ー
ー(2)山形市聴こえくつきり事業についてについて資料2に沿って説明ー
ー(3)ケアマネジャーと主治医・薬局がよりやりとりしやすい環境に向けた取組状況について、資料3-1、2に沿って説明ー

議長 それでは、(1)から(3)について、委員の皆様より、ご質問やご意見があればお願いします。
委員 これまで再三言ってきたことではあるが、地域包括支援センターをはじめとする地域で働く人のリスクマネジメントについて、保険者が責任をもってつくる必要があると考えるが、地域包括支援センターの事業計画にはそのような記載はない。基幹型地域包括支援センターなどが中心となって、このトラブルにはこう対応するといったフロー図をつくるべきだと思うが、その点についてどうお考えか。

事務局 前回の会議等でもご意見をいただいたが、おっしゃるとおりである。国においても、地域包括支援センターの負担軽減について、第9期の基本指針に含まれていることを確認している。それらも踏まえて、基幹型地域包括支援センター等と協議をし、対応を進めていきたいと考えている。

委員 困難事例の相談が増えているようなので、ぜひ対応をお願いしたい。

委員 聞こえくつきり事業について、実体験も踏まえて話をさせていただく。若いころ、中耳炎を患ったが病院へ行かず治療をしなかったことがあった。それが原因で、70代で耳の聴こえが悪くなってしまった。会話が聞き取りにくいことが原因で社交性もなくなってしまった。そこで病院へ行き補聴器の使用を勧められ、5年ほど前から使用している。話がしっかりと聴こえることはとても良いことだし、使用前と比べ積極性が増したように感じる。
この会議で初めて聴こえくつきり事業について知ったが、自分と同じような思いをしている人のために、今後も進めていただければと思う。

5. 協議

(1) 地域包括支援センターにおける指定介護予防支援事業等の委託先の承認について

議長 (1) 地域包括支援センターにおける指定介護予防支援事業等の委託先の承認について、事務局より説明をお願いします。

事務局 ー資料4、参考資料4-1に沿って説明ー

議長 それでは、この件について、委員の皆様のご意見があればお願いします。
ー質問・意見等なし

議長 意見がないようなので、承認することとしてよろしいでしょうか。
ー承認

(2) 第8期介護保険事業計画及び一般介護予防評価事業の進捗状況等(令和4年度分)について

議長 それでは、(2)の「第8期介護保険事業計画及び一般介護予防評価事業(令和4年度分)の進捗状況等について」ですが、毎年度山形市において点検・分析・評価を行い、本協議会に報告し、意見を伺うものです。評価方法に沿って事務局が行った評価や分析等について、委員の皆様には、ご意見・ご質問を伺う形になります。

では、評価結果を1枚にまとめた資料5-1(委員の方は、当日配布資料5-1)を用いて事務局より説明後、委員の皆様のご意見ご質問を伺っていきます。計画全体に係るもので量が膨大なため、分けて協議を進めていこうと思います。

それでは、「I 数値目標等の進捗状況及び評価」について事務局より説明をお願いします。

事務局 ー資料5-1、資料5-2（スライド3番～15番）に沿って説明ー

議長 それでは、「Ⅰ 数値目標等の進捗状況及び評価」について、ご意見を伺っていきます。今説明あったように、「全体の目標」及び「給付適正化の取組目標」については「◎」の評価、「ビジョンの目標」については「○」となっております。これらの評価結果を踏まえ、取組内容や要因分析等についてご質問・ご意見があればお願いいたします。

なお、時間の関係からご意見はできるだけ簡潔にいただけるようお願いいたします。

委員 スライド13について、山形市内の介護サービス事業所、施設の職員数の目標が2025年までに1,600人となっているのに対して、令和4年度は0人となっているのは、危機的な状況なのではないかと思った。介護人材の確保について、現在取り組んでいることや、計画していることがあれば教えていただきたい。

事務局 1,600人という目標については、2025年までに毎年300人程度介護職員の確保が必要だと試算している。目標値に対し、令和4年度が0人となっていることについては、喫緊の課題であると認識している。こうした状況も踏まえ、現在、介護現場の革新に向けた総合的な取組として、介護の生産性向上モデル事業に取り組み、その成果を踏まえ横展開していく予定である。少ない人数で生産性を上げる取組と併せて、介護人材を確保するための取組を進めている。加えて、介護職員の処遇について、国の介護報酬によるところもあるため、引き続き国へ要望をしていくところである。

事務局 1,600人という数値は、厚労省より提供のあったシステムにより算出しているが、この中には介護職員のみならず、調理員などの全職員が含まれている。令和4年度の0人については、事業所を運営する法人へ山形市が独自に行った調査の結果、年度ごとの退職者と採用者の差が±0であったことによる。また、事業所によっては委託や派遣による人材確保を行っているところもあるかと思うが、山形市の調査では直接雇用の職員数しか把握できていない。そのため、数字だけを見ると危機的な状況であるが、実際には法人ごとで人材確保において様々な工夫をしながらサービスを提供していると考えられる。

委員 スライド12において、介護の魅力発信に関するイベントの参加者数が増えていたので、ここをきっかけに良い流れができれば良いと思った。

議長 それでは、「Ⅰ 数値目標等の進捗状況及び評価」について承認ということよろしいでしょうか。

ー承認

議長 では次に、「Ⅱ 介護給付等対象サービスの種類ごとの量の見込みの進捗状況及び評価」について、事務局から説明をお願いします。

事務局 ー資料5-1、資料5-2（スライド16番～17番）に沿って説明ー

議長 それでは、「Ⅱ 介護給付等対象サービスの種類ごとの量の見込みの進捗状況及び評価」についてですが、「要介護（要支援）認定者数の推移」では「○」、「介護給付費等総額の推移」では「△」となっております。評価結果を踏まえ、取組内容や要因分析等についてご質問・ご意見があればお願いいたします。

ー質問・意見等なし

議長 それでは、「Ⅱ 介護給付等対象サービスの種類ごとの量の見込みの進捗状況及び評価」について承認ということよろしいでしょうか。

一承認

議 長 では次に、「Ⅲ 一般介護予防事業評価事業 定量的指標評価項目の進捗状況及び評価」について事務局から説明をお願いします。

事務局 一資料5-1、資料5-2（スライド18番～34番）に沿って説明一

議 長 それでは、「Ⅲ 一般介護予防事業評価事業 定量的指標評価項目の進捗状況及び評価」についてですが、総合事業の「全体」は「△」、「介護予防・生活支援サービス事業」のプロセス指標は「○」、アウトカム指標は「△」、「一般介護予防事業」は「△」となっております。評価結果を踏まえ、取組内容や要因分析等についてご質問・ご意見があればお願いいたします。なお、時間の関係からご意見はできるだけ簡潔にいただけるようお願いいたします。

委 員 当日差し替え資料5-1のⅢについて、プロセス指標の評価が「○」、それ以外の評価が「△」ということは、やることはやれたが結果がついてこなかった、という理解で良いか。

事務局 そのような理解で良い。

委 員 このような評価結果となった理由についてどうお考えか。

事務局 Ⅲの評価結果に関わるものとして、ニーズ調査の結果があるが、今回の調査結果では、機能低下等のリスク出現率や外出頻度、社会参加において悪い結果となった。ここ3年の新型コロナウイルスによる外出控えなどが影響していると推察されるが、こうしたなかでも、介護予防の取組については、計画したものを工夫して行ってきたと認識している。委員のおっしゃるとおりで、取り組むべきことは可能な範囲で取り組めたが、この社会情勢のなかでは思うような値には達しなかったという意味だととらえている。

委 員 コロナの影響がこうしたところにも出ているのだと改めて感じているところである。介護サービスの提供体制が充実しているからこそ、今度は、介護に移行しないようにするためには、どうすべきかを考えることが重要となる。

ちなみに、私の大学の学生に調査をした結果、新型コロナウイルスによる社会情勢の変化により、対人関係恐怖症のようになってしまい、人と関わることがストレスになっている人が多いことが分かった。こうした状況も踏まえると、結果が出ないのはやむを得ないことだとは思いますが、今後も注視するべきである。

事務局 要介護認定率、新規の認定者数は微増の傾向にあり、最終的な数字としては危惧されるものとなるのではないかと考えている。また、ここ3年間の社会情勢が、後の要支援・要介護者数に影響することも考えられる。今できることをしたいということで、先ほど報告した聴こえくつきり事業などがあげられる。総合事業については、国でも第9期に向けて集中的に充実させなければならないという指針が出る予定である。この点に関して、山形市では先んじて、総合事業のリニューアルとして、介護予防モデル再構築事業に着手している。こちら、今だからこそできる取組であると考えているので、今後進捗等について、本協議会でも報告させていただきたいと考えている。

議 長 それでは、「Ⅲ 一般介護予防事業評価事業 定量的指標評価項目の進捗状況及び評価」について承認ということによろしいでしょうか。

一承認

議 長 では次に、「Ⅳ 施策の進捗状況及び評価」について事務局から説明をお願いします。

事務局 ー資料5-1、資料5-2（スライド35番～65番）に沿って説明ー

議長 それでは、今説明のあった「IV 施策の進捗状況及び評価」についてですが、評価は「◎」となっております。評価結果を踏まえ、取組内容や要因分析等についてご質問・ご意見があればお願いいたします。なお、時間の関係からご意見はできるだけ簡潔にいただけるようお願いいたします。

委員 スライド46に関連して、認知症サポーター養成講座の活用の仕方についてお聞きしたい。認知症サポーター養成後の最終的なイメージとしてどういったものを持っているか。この件については、仙台市でも、講座で学んだことなどを活かしていないことが問題となっている。

事務局 山形市においても、多くの認知症サポーターが養成されているが、ご指摘のとおりその後の活動に活かしていないという厳しい状況である。これまでは、認知症セミナー等の受付のお手伝いをしていただいていたが、今年度からは、認知症サポーター養成講座の会場のお手伝いをいただいている。役割をもって我々（市）と一緒に活動をしたという認知症サポーターの意向もあるので、そういった方を大切に、どのような活動とマッチングできるかを今後も検討していく必要があると考えている。

また、チームおれんじについて、メンバーは認知症サポーターであることが前提となっており、3月に2か所結成されている。こちらをモデルとして横展開をしていき、地域の方の意見を踏まえながら、将来的な姿を構築していきたいと考えている。

委員 スライド46に関連してお話させていただく。今月、認知症の人と家族の会の北海道・東北支部の会員と協議をする場を設けており、そのなかのテーマの一つとして、認知症カフェの増加は認知症の方、その家族にとって本当の幸せにつながっているのかというものが挙げられている。また、チームおれんじについて、当事者にとっては期待の大きいものではあるが、自分たちの生活の幸せになるのかと思うところもある。こうした取組、事業は当事者が求めていることではあるが、本当にあってよかった、助かったと思えるものであるかを改めて考える必要があるのではないか、という点に関して情報交換等を行う予定である。今後の施策の展開においても、本当に当事者が望んでいるものなのか、当事者の意見については、何を、どうして、どのように聞いたかを明確にしてほしい。

議長 それでは、「IV 施策の進捗状況及び評価」について承認ということによろしいでしょうか。
ー承認

(3) 第9期介護保険事業計画の策定について

議長 (3) 第9期介護保険事業計画の策定について、事務局より説明をお願いします。

事務局 ー資料6-1～3、参考資料6-1～4に沿って説明ー

議長 それでは、この件について、委員の皆様のご意見があればお願いします。

委員 資料6-2のP10について、介護が必要になった場合、施設で生活したいという人が激減している。P11の施設等を希望する理由として、「介護してくれる家族等に負担が掛かるから」が最も高くなっている。これらを踏まえると、本人が本当に施設での生活を希望している場合と、家族に負担を掛けたくないからやむを得ず施設を選んでいる場合が考えられる。これは今後施設を増やすかどうかという部分にも関わると思うので、この点についてどうお考えかお聞きしたい。

事務局 この部分については、分析がまだ十分に行えていない。今後分析をすすめ、施設サービス、在

宅サービスのさらなる充実について検討していきたい。

事務局 本当は施設希望ではないが、家族に負担を掛けたくないで施設での生活を選ぶ人がいることも考えられるが、今後ケアマネジャーなどとの意見交換会を実施し、実態を把握したいと考えているところである。

委員 資料6-2のP20について、どの介護内容についても8期より割合が下がっているが、無回答が倍以上に増えている。このことから、介護に対する不安が全体に減ったとみるのは誤っており、この設問に関しては介護の不安の動向を把握する程度にとどめるべきであると考えている。

事務局 無回答の増加については深堀りが必要であると考えている。捉え方についてお知恵をお借りしたいところである。

委員 ・この結果については、やはり介護の不安の動向を捉えることしかできないと考える。無回答が増えた理由を知るには、また別の調査が必要だと思うため、本調査のみでの把握するのは難しい。

・資料6-1で計画策定のスケジュールについて説明いただいたが、介護事業者意見交換会や本協議会、社会福祉審議会の実施のみならず、住民の声を吸い上げることも必要なのではないかと考える。介護保険制度とは、保険料を徴収し介護保険事業を展開するものであり、一定の区域内での民主的な政策であると言える。行政と専門職サイドで地域包括ケアシステムを構築していくということではあるが、そういった面では住民の声を聞き、検討をする必要があるのではないかと考える。ただ、このスケジュールに沿って様々な準備等を進めていると思うので、こうしたことができればより良いのではないかと希望で発言させていただいた。

事務局 意見交換会の場を活用し、市内に100か所以上ある住民主体の通いの場の関係者に、ご意見を伺うことはできないかと現在考えていたところである。それらを踏まえ、計画の骨子、素案へつなげていきたいと考えている。

議長 委員の皆様からのご意見をもとに、承認することとしてよろしいでしょうか。

-承認

6. その他

議長 その他、事務局及び委員の皆様からご意見等はございませんでしょうか。

事務局 その他資料の提供ということで、その他資料1「介護保険事業の実施状況について（令和5年3月時点）」、その他資料2『『介護の現場』魅力・活力くるりんプロジェクト（生産性向上モデル事業）について』を配布させていただいております。後ほどご覧いただければと思います。

事務局 本日は貴重なご意見を賜りありがとうございました。アンケートの分析を含め、9期計画の策定に向けて、当事者や事業者の方とディスカッションなどを実施することで計画の中身を膨らませ、山形市の介護保険事業を、より求められたことにこたえられるものになりたいと考えています。今後ともご協力のほどよろしくお願いいたします。

事務局 次回の協議会開催日等は事務局と相談のうえご連絡します。

7. 閉会